

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587006101	科目番号	05870061
授業科目名	●健康と共生II(大学生の育児学)		
編集担当教員	大石 和代		
授業担当教員名(科目責任者)	大石 和代		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	大石 和代, 永橋 美幸, 上野 美穂		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	1年, 2年, 3年, 4年		
担当教員Eメールアドレス	k-oishi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科5階		
担当教員TEL	095-819-7980		
担当教員オフィスアワー	質問等ある場合は大石教員アドレス(上記参照)までEメールで連絡して下さい。		
授業の概要及び位置づけ	自分がどうやって育ってきたかに気付き、親への感謝を持ち、生命をつなぐ役割の大切さを理解して、人間として成長する。		
授業到達目標	<p>妊娠・出産・育児での男女の役割について説明できる。 胎児・乳幼児の発育・発達と養護について説明できる。 育児技術を実施できる。 男女ともに子育てしやすい社会について考えることができる。</p>		
授業方法(学習指導法)	オムニバスによる講義・演習		
授業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション～生命をつなぐ～(大石) 2. 妊娠中からの親子のコミュニケーション(永橋) 3. 妊婦体験とマザーリングマザー(永橋) 4. 出産(大石) 5. 出産後の親子のコミュニケーション(大石) 6. 出産後の父親・母親のメンタルヘルス(大石) 7. 新生児の能力と養護(永橋) 8. 乳幼児の心身の発育・発達(永橋) 9. 乳幼児の遊び(上野) 10. 乳幼児の病気(上野) 11. 乳幼児の事故(上野) 12. 乳幼児の緊急時対策と応急措置(上野) 13. 男性と子育て(外来講師:イクメンパパ) 14. 女性と子育て(外来講師:子育てママ) 15. まとめ(大石、永橋、上野) 16. 試験 		

キーワード	妊娠・出産・育児、胎児・新生児・乳幼児、育児技術、男女共同
教科書・教材・参考書	毎回、講義資料を配布する。
成績評価の方法・基準等	小テスト：50% 課題レポート：20% プレゼンテーション：30%
受講要件（履修条件）	
備考（URL）	
学生へのメッセージ	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火5
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587006501	科目番号	05870065
授業科目名	●健康と共生II(仕事と健康)		
編集担当教員	楠葉 洋子		
授業担当教員名(科目責任者)	楠葉 洋子		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	楠葉 洋子, 中根 秀之, 黒田 裕美		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	kusubay@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科2階		
担当教員TEL	095-819-7936		
担当教員オフィスアワー	適宜(事前にメール等で連絡をすること)		
授業の概要及び位置づけ	仕事は人間に報酬や達成感などの喜びをもたらすが健康問題にも関連している。雇用・労働環境を知り、メンタルヘルスの危機や生活習慣病などの仕事に関わる健康問題について理解する。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 壮年期の特徴について述べることができる。 2. 仕事をするものの意味について考えることができる。 3. 雇用環境・労働環境について述べるができる。 4. 仕事と生活習慣病の因果関係について述べるができる。 5. 病気を持ちながら仕事を継続している人々のセルフマネジメントについて述べるができる。 6. メンタルヘルスのあり方について考えることができる。 7. 働く人々の健康の実態を知り、仕事を継続する上での望ましい健康術について考えることができる。 		
授業方法(学習指導法)	講義、演習(個人学習、グループ学習)、学習内容の発表、討論などをまじえながら学習を進める。		
	回	内容	
	1	授業ガイダンス、労働人口の特徴(楠葉)	
	2	仕事を持ち働くことの意味を考える(楠葉)	
	3	雇用環境・労働環境の実態(1):労働生活と健康の概略(楠葉)	
	4	雇用環境・労働環境の実態(2):健康障害要因(楠葉)	
	5	雇用環境・労働環境の実態(3):課題発表:業種別作業別健康問題(楠葉)	
	6	仕事と生活習慣病:糖尿病(黒田)	

授業内容	7	仕事と生活習慣病：虚血性心疾患（黒田）
	8	仕事と腰痛、VDT作業と健康（黒田）
	9	病気をもちながら仕事を継続するためのセルフマネジメント（楠葉）
	10	仕事とメンタルヘルス（1）：（中根）
	11	仕事とメンタルヘルス（2）：（中根）
	12	働く人々の健康の実態と労働衛生（1）：サラリーマンの健康の実態（楠葉）
	13	働く人々の健康の実態と労働衛生（2）：健診データを基に健康について考える（楠葉）
	14	働く人々の健康の実態と労働衛生（3）：（ゲストスピーカー：長岡清子）企業における健康管理、“ものづくり”における健康管理
	15	働く人々の健康術：サラリーマンの健康術について考える（楠葉）
	16	まとめ：課題学習；最終レポート課題の提出
キーワード	仕事、壮年期、労働環境、生活習慣病、メンタルヘルス、セルフマネジメント、労働衛生	
教科書・教材・参考書	配布資料、参考書等については適宜紹介する。	
成績評価の方法・基準等	授業への貢献度、レポート課題等を基に総合的に評価する。評価方法の詳細は授業ガイダンスで説明する。	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	まだ、賃金発生する仕事に就いた経験がない人が多いと思います。新聞やテレビ、インターネットなどで、仕事と健康に関係ある記事をチェックしたり、周囲で仕事をしている人たちの話を聞いたりすることが、授業の理解を深めるために有用です。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587006901	科目番号	05870069
授業科目名	●健康と共生II(老いと健康)		
編集担当教員	井口 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	井口 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	井口 茂,横尾 誠一,田中 浩二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	選択 全学		
担当教員Eメールアドレス	井口 茂 / shigeru@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科3階 井口教員室		
担当教員TEL	井口茂 095-819-7962		
担当教員オフィスアワー	火曜日 18:00～19:30		
授業の概要及び位置づけ	高齢者の加齢に伴う身体・心理的变化、環境への適応能力など生理的及び社会的変化を学び、高齢者に対するケアのあり方について議論していく。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の心身の変化を理解する。(①⑦) ・高齢者の社会的背景を理解する。(②⑦) ・高齢者に対する希有の現象を理解する。(③⑤⑫) 		
授業方法(学習指導法)	PCプレゼンテーションを中心とした講義ならびに演習、ケアの現場見学、グループワーク、プレゼンテーション、討論を通じて自ら考え、行動する学習法を身につける。		
授業内容	第1回 ガイダンス及び高齢者が抱える健康及び生活課題(井口) 第2回 知っておこう!介護保険(井口・横尾・田中) 第3回 介護予防とは(井口・横尾・田中) 第4回 高齢者支援 -自助・互助・公助-(井口・横尾・田中) 第5回 高齢者の特徴的な病気と看護(横尾・井口・田中) 第6回 高齢者の寝たきりと廃用症候群(横尾・井口・田中) 第7回 高齢者の緩和ケア(横尾・井口・田中) 第8回 高齢者と家族(横尾・井口・田中) 第9回 認知症とは(田中・井口・横尾) 第10回 認知を予防する(田中・井口・横尾) 第11回 認知症の方へのケアとリハビリテーション(田中・井口・横尾) 第12回 認知症の方を地域で支える(田中・井口・横尾) 第13回 見学オリエンテーション・準備(演習及びグループワーク) 第14回 見学日(演習及びグループワーク) 第15回 課題発表(グループワーク及びプレゼンテーション、討論) 第16回 定期試験		
キーワード	高齢者、健康、ケア、介護保険、住民活動		
教科書・教材・参考書	教科書・教材・参考書：特になし・必要に応じて資料を配付する		

成績評価の方法・基準等	試験（40％）、課題発表（30％）、レポート（20％）、授業参加度（10％）
受講要件（履修条件）	復習時間として週1時間以上を要する
備考（URL）	
学生へのメッセージ	高齢者の問題・課題は、介護問題だけでなく社会に関わる多くの要因が絡んでいます。自分が目指す分野における関係性について考えてみてください。



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587007301	科目番号	05870073
授業科目名	●健康と共生II(青年期の健康・体力増進)		
編集担当教員	中垣内 真樹		
授業担当教員名(科目責任者)	中垣内 真樹		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	中垣内 真樹,永江 誠治,山崎 浩則		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	gaichi@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	医学部保健学科体育館2F中垣内研究室		
担当教員TEL	095-819-7966		
担当教員オフィスアワー	月曜日 10:30~12:30、16:00~17:00		
授業の概要及び位置づけ	青年期にある大学生にとっての健康とは何かを学び、健康・体力増進のための体力トレーニング、スポーツ、食生活、メンタルヘルス等について理解する。		
授業到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 身体活動と食事のセルフチェックができる。 2. 青年期における健康づくりの意義について理解する。 3. 精神的な健康について理解する。 4. 健康における運動、スポーツの意義について理解する。 		
授業方法(学習指導法)	講義にグループワーク、討論、演習、地域イベント参加等を取り入れ、自ら考え、行動する学習方法を身につける。		
授業内容	回	内容	
	1	4月8日 青年期に健康を考える～医療の観点から～ 山崎浩則(保健・医療推進センター)	
	2	4月15日 青年期に健康を考える～ヘルスプロモーションの観点から～ 中垣内真樹(保健学科)	
	3	4月22日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶI 中垣内真樹(保健学科)	
	4	5月13日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶII 中垣内真樹(保健学科)	
	5	5月20日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶIII 中垣内真樹(保健学科)	
	6	5月27日 青年期の体力・体力トレーニングについて学ぶIV 中垣内真樹(保健学科)	
	7	6月3日 健康のための食生活について学ぶI ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)	
	8	6月10日 健康のための食生活について学ぶII ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)	
	9	6月17日 健康のための食生活について学ぶIII ゲストスピーカー 松本妙子(栄養士)	
10	6月24日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶI 永江誠治(保健学科)		

	11	7月1日 青年期のメンタルヘルスについて学ぶⅡ 永江誠治（保健学科）
	12	7月8日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅰ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	13	7月15日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅱ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	14	7月22日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅲ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	15	7月29日 地域の運動・健康づくりイベントへの参加Ⅳ（チャレンジデーなど） 中垣内真樹（保健学科）
	16	8月5日 青年期の健康・体力についてのGW・まとめ 中垣内真樹（保健学科）
キーワード	健康、体力、スポーツ、食事、メンタルヘルス、ヘルスポロモーション	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	授業へ臨む態度、グループワーク・討論での積極性、発表およびレポート内容を総合して評価する。	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587007701	科目番号	05870077
授業科目名	●健康と共生II(障害体験と支援)		
編集担当教員	東 登志夫		
授業担当教員名(科目責任者)	東 登志夫		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	東 登志夫, 中尾 理恵子, 杉山 和一, 北島 栄二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-24		
対象学生(クラス等)	2年次		
担当教員Eメールアドレス	higashi-t@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	保健学科5t階		
担当教員TEL	095-849-7994		
担当教員オフィスアワー	金曜日 9:00-12:00		
授業の概要及び位置づけ	各種障害の疑似体験等を通して障害を理解し、その支援の必要性を体感するとともに、具体的な支援の方法について学ぶ。なかでも長崎市特有の斜面地の移動障害に焦点を当てて、その支援策について討議する。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・代表的な障害を挙げることができる ・障害を持った方が抱えている生活障害を理解する ・長崎の斜面地における移動障害を理解する ・障害者を支援する各種制度の概要を理解する。 ・斜面地における移動障害を支援する具体的方法について学ぶ 		
授業方法(学習指導法)	高齢者疑似体験セット、片麻痺体験セット、車いす、アイマスク等を使用して、実際の障害を体験する演習や、長崎市の斜面地とその移動支援の方法を実際に視察する。さらに、実際に障害を持った方の体験を聞くことにより、障害に対する理解を深め、その支援方法について討議する。		
授業内容	回	内容	
	1	オリエンテーション, グループ分け	
	2	各種障害の理解 東	
	3	生活の中でのバリア 東	
	4	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東	
	5	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東	
	6	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす, 視覚障害) 東	
	7	障害体験(高齢者, 片麻痺, 車いす) 発表階とグループ討議 東	
	8	斜面地探索(フィールドワーク)	

	9	斜面地探索（フィールドワーク）
	10	長崎市の斜面市街地の現状と課題 杉山
	11	福祉用具と住宅改修について 北島
	12	斜面地用歩行支援用具について 北島
	13	高齢者。各種障害者を支援のあり方① 中尾
	14	高齢者。各種障害者を支援のあり方② 中尾
	15	全体のまとめ 東
	16	授業を振り返ってのグループ討議
キーワード	障害, 高齢者, 支援, 斜面	
教科書・教材・参考書	配付資料	
成績評価の方法・基準等	プレゼンテーションでの発表内容（40%）, レポート（60%）にて総合的に評価.	
受講要件（履修条件）	特になし	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	本講義では, 高齢者, 視覚障害, 片麻痺及び体車椅子の体験等を実際に体験し, 障害を持つ方々への支援のあり方を一緒に考えます. 興味がある方, 是非受講してください.	

